

NECTA 10周年 記念シンポジウム
「自然再生と地域づくり」

京都での自然再生と地域づくり

- 里地里山法の成果: 木津鹿背山の里山再生
- プレイパークから始まる宝ヶ池自然再生ネットワーク
- 和の花プロジェクト: 希少種系統保存の民間参画
- 都市のグリーンインフラ: 雨庭の地域づくり

地域連携促進法

幼児からの自然

紙ごみ電気+α

賢い適応

京都学園大学教授・京都大学名誉教授

森本幸裕

2015/5/18@日本消防会館

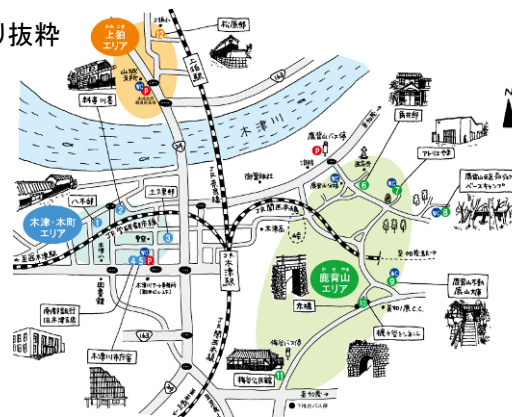
木津北地区における地元や市民団体等の活動

検討会資料より

木津川アート

出典:木津川アート2010HPより抜粋

- 平城遷都1300年祭、第26回国民文化祭・京都2011木津川市事業の1つとしてスタート
- 木津川市内の使われなくなった建物、何か懐かしい風景、アートを感じさせる空間などを利用し、作品やパフォーマンスを行う



鹿背山倶楽部

出典:鹿背山倶楽部HPより抜粋
都市機構提供写真

- 学研都市にとって貴重な財産空間となる木津北地区の自然環境や歴史的文化的資源等に着目し、学研都市住民の里庭として愛される環境づくりに向けた里山活動を行う組織



鹿背山元気プロジェクト

出典:都市機構より資料提供

- 鹿背山の里山(関西文化学術研究都市・木津地区)の自然環境再生とそれを支える社会的な仕組みの確立を目指す組織
- 健康な森・シイタケの森づくり、柿畑再生、竹林の手入れ、ブルーベリー畑、里山キャンプ
- 地元のこどもエコクラブとの共催による自然観察会やウォークラリー、2010年秋には里山のアートイベントを実施

関西学研都市・木津地区
撤退の都市計画
劣化する里山の再生を協働で



里地里山法の成果！

・里山植生回復

里山の植生が遷移しアラカシなどの常緑樹が優占する樹林が拡大している。常緑樹の優占によって、里山の落葉性の低木が衰退しているため、部分的に空隙を形成する。この空隙の光によって、コバノミツバツツジなどの花の咲く低木が生育し、チョウなどの昆虫が舞う。

(1)人や生物の移動ルート整備

旧歩道の整備によって、人や生物の移動を確保する。道の周辺の樹木も伐採整理すれば、猛禽類の飛翔空間を確保できる。



図5 樹林内にギャップを形成

【日だまりは野生の生物だけでなく、人も楽

らな移動空間を確保することにより、

谷筋における猛禽類の飛翔空間を確保する。



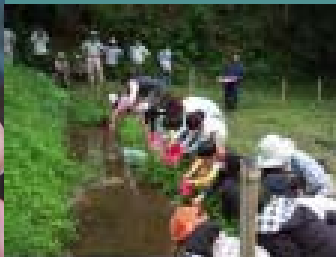
図1 旧歩道の飛翔ルート



図2 谷筋の飛翔ルート

木津川市 地域連携保全計画作成 市の担当室新設＋応援団形成

カスミサンショウウオ



オオタカ

みんなの里山に！

- ・木津川市が新規に「室」を作ってマネジメントの事務局担当
- ・市は基盤的事業展開

NPOs, 環境教育, CSR, 専門家, 自治体

152ha

木津の文化財と緑を守る会

鹿背山倶楽部

鹿背山の柿を育てるネットワーク

鹿背山元気プロジェクト

京都発・竹・流域環境ネット

【こどもエコクラブ】



ミヤコツツジ

京都三山



京都議定書の地

市街地に隣接した里山ー宝ヶ池

プレイパークを核とした啓発と協働による管理・再生に向けた取り組み



宝ヶ池公園

子供の楽園

プレイパーク

プレイパーク＝冒険遊び場、自分の責任で自由にあそぶ



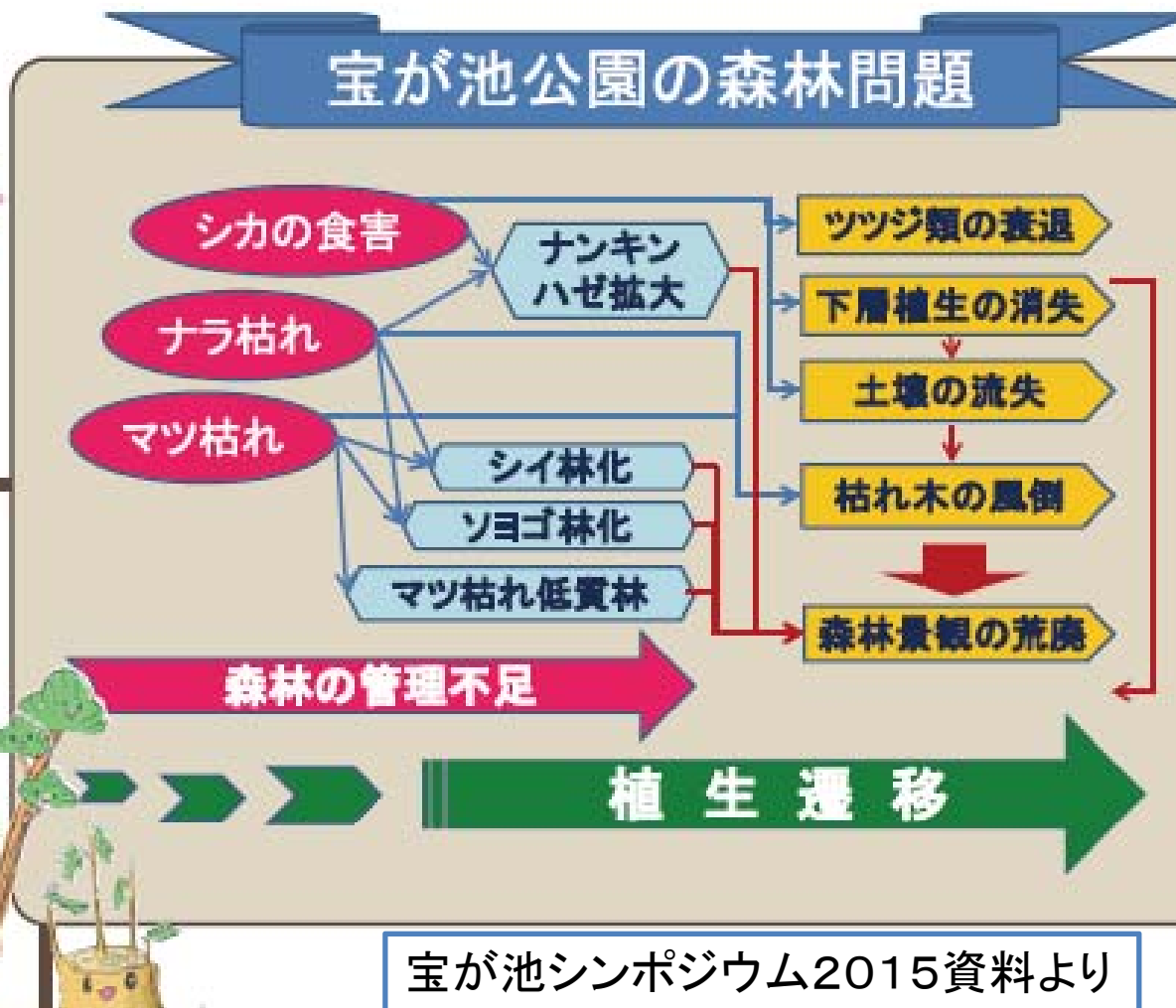
京都三山の一角をなし、人々の暮らしの中で歴史的にも景観的にも大切な役割をもつ宝ヶ池の森。かつては里山として、今は公園として、多くの人々に親しまれています。
しかし今、その森の環境が激変し、危機に瀕しています。危機をもたらしている原因は単純ではありません。宝ヶ池の森を将来につないでいくためには、複雑にからみあった問題の全体像を俯瞰しながら、そして、問題の関係を解きほぐしながら、解決の道筋を見出していかなければなりません。

宝ヶ池を彩る 野生ツツジ類 (森本幸裕)

春、ヤマザクラの花を楽しんだあと、まず咲きだすツツジがコバノミツバツツジ。少し遅れてヤマツツジとモチツツジ。その自然交配で生じたミヤコツツジも美しい。これらは産せた土壌で育つ多様な里山裡山依存種の代表です。秋にはヤマハゼに始まる紅葉だけでなく、河岸の崖に多いカラコギカエデにも注目。多様な生物に取巻しを。

公園になって 逆に適切な伝統的管理が失われていった宝ヶ池の森 (柴田昌三)

宝ヶ池の森は、普通の里山でした。公園として整備されていく中で、森の整備は行われず、森は地くなっていきます。コバノミツも咲かなくなりました。自生種でない花木を植える計画もありましたが、森を明るくすることでツツジが回復できることがわかりました。しかし、マツ枯れがやってきて、森はまた荒れ始めたのでした。



宝ヶ池シンポジウム2015資料より

「新景観創造事業」が自然再生の新展開の契機となるか？！

鎌田氏作成資料を改変

3人のキーパーソン

首長

京都市

京都市都市緑化協会

国立京都国際会館

宝が池公園・子どもの楽園
利用者、地域住民、etc

宝が池公園
子どもの楽園

京都宝の森をつくる会

宝が池シンポジウム

自主事業

非常勤職員

宝が池連続学習会

研究者

宝が池
座談会

- 京都府立大学
 - ✓ 森林生態
 - ✓ ナラ枯れ
 - ✓ 森林計画
 - ✓ 山繭
- 京都大学
 - ✓ シカ管理
- 京都工芸繊維大学
 - ✓ 昆虫生態
 - ✓ 環境教育
- 京都学園大学
 - 立命
 - 龍谷
 - 大谷
- 京都市埋蔵文化研究所

・徳島大学
自然再生研究

まとめ

生態学会：
自然再生講
習会

ボランティア、イン
ターンシップ、ゼミ

非常勤職員

火つけ

プレイパーク

ボランティア・スタッフ

- NPO
- 一般社会人

プレイリーダー
• 学生

自然あそび教室

児童＋保護者

けむんぱくらぶ

就学前幼児＋保護者

「和の花」プロジェクト:文化を手がかりに民間参画

■ 葵プロジェクト(世界遺産・上賀茂神社など) 2006年～



近隣の6小学校に株分けした鉢を育ててもらい、境内に戻す。静岡・駿府城に開校した葵小学校との交流も。

企業も畑での栽培に参加。

京の生きもの・文化協働再生プロジェクト



葵プロジェクト
・KES環境マネジメントシステム
など16事業所
・京都水族館

ほか、あおいさとがえ
フタバアオイの奉納式「葵里帰り」



神社境内の葵畑

生活、祭事などで親しまれてきた自生植物の例2

原種フジバカマ



原種(日本自生)

KBS京都:紫式部千年紀

フジバカマ(原種) キク科

Eupatorium japonicum

環境省RD:準絶滅危惧種(NT)

京都府RD:絶滅寸前種

園芸品種

大陸由来またはそれらと近縁種との交雑種か。

葉が小さく、花色、茎の色が濃いものが多い(白花もある)。

「秋の七草(種)」のひとつ。(山上憶良「萩の花 尾花 葛花 なでしこの花をみなへし また 藤袴 朝貌の花」万葉集巻八)

古代から香料や薬(利尿作用、入浴剤)として利用。かつては水田のあぜ、川の土手などによく見られた。1998年西京区大原野で自生地が見つかり、藤井肇氏により大原野神社境内などで保全されてきた。

今後の展開

枠組み開発への取り組み

KES (環境マネジメントシステム)

生物多様性プログラム

京の植物育成コース

企業・学校

✓相談 ↓ ↑ ✓紹介
✓認定 (2SR)

窓口

KES

既存のプロジェクト

都市緑化協会

- ❖ 葵プロジェクト
- ❖ チマキザサ再生プロジェクト
- ❖ 巨椋池遺伝子保全プロジェクト
- ❖ 守ろう！藤袴プロジェクト ほか

雨庭作成コース

企業・学校

✓相談 ↓ ↑ ✓雨庭の紹介
✓認定 (2SR)

KES

✓仲介

✓施工・環境条件
に適した提案

専門家

土地利用の生物多様性主流化へ

雨庭の8つの利点

●都市気候の緩和

緑地は蒸発散によってヒートアイランド現象を緩和

●生物多様性保全への貢献

(+メンテナンスの軽減)

都市では湿地が最も生物多様性の危機、原野植物は雨庭に最適

●景観の向上

自然の息吹が感じられる生き生きした景観

●コミュニティの交流

雨庭をテーマに地域交流

●洪水調節

雨水浸透貯留は洪水流出係数を低減し、流出ピークを遅らせる

●地下水・湧水涵養

生物多様性ホットスポットの湧水を涵養

●水質浄化

土壌層と植物は流出および浸透水の水質浄化に貢献

●身近な自然体験の場

多様な草遊び、虫取りで自然欠損障害の緩和に貢献



京都の原風景を表現

無機的空間から京都の生態系の入口へ

京都の原風景である、「里山」→「棚田・湿地」→「池沼」といった自然環境を、上層階から下層階にかけて再現しています。池沼ゾーンではかつて京都の巨椋池に生育していた種を中心に構成しています。

里山



神奈川県立茅ヶ崎里山公園



里山ゾーン



ヤマモミジ



ツワブキ

棚田・湿地



奥出雲町大馬木にある棚田



棚田・湿地ゾーン



クワイ

ヒメホタルイ

デンジノウ

サンカクイ



ミズアオイ

池沼



かつての京都 巨椋池



池沼ゾーン

オグラハス



ヒメガマ

オオトクサ

ミソハギ

イグサ

アサザ

オグラハス

ヤツガシラ

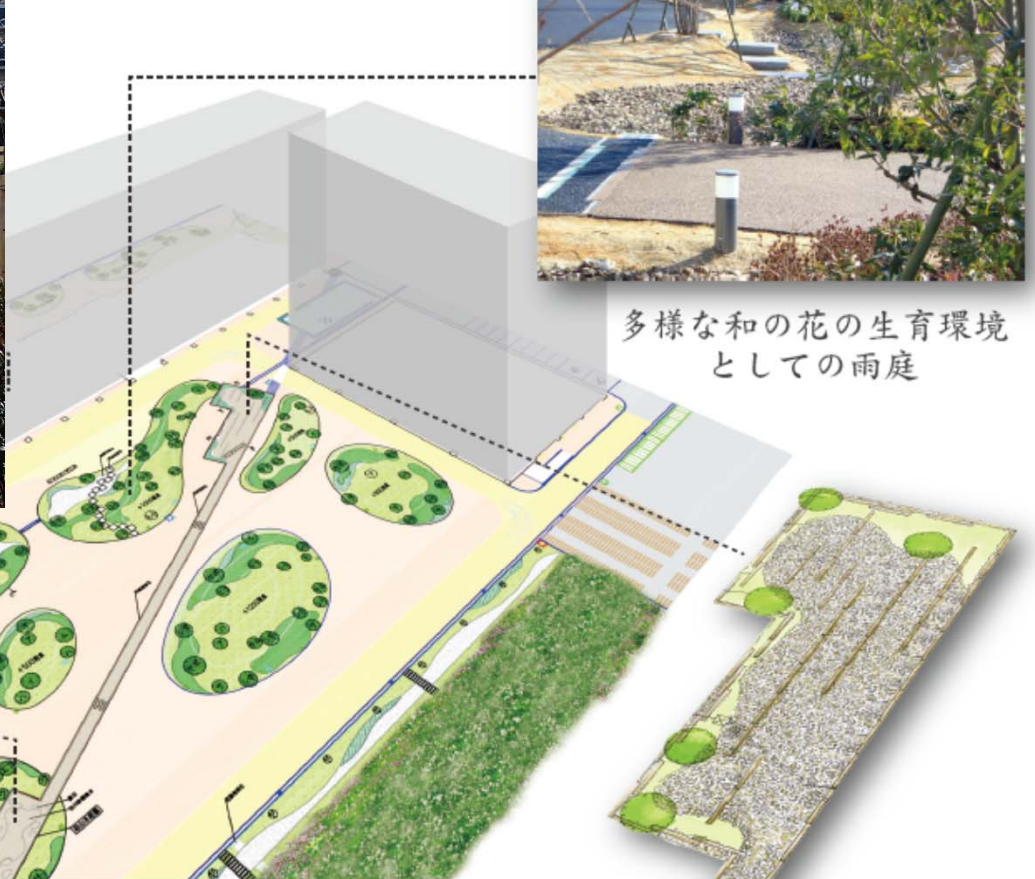
ヒツジグサ

ヒシ



ガガブタ

京都駅ビル提供



地球環境・京都・季節
京都学園大学
太秦キャンパス
地球軸・雨庭枯山水

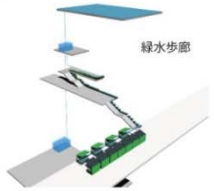
京の雨庭ネットワーク

雨水を中心とした自然の恵み（ソーラー、風力、人力等）を活用した多様な雨庭を都市中で展開する。景観としての美しさや、市民参加型等、京都らしい取り組みとする。

成果指標例：
 ●緑化面積・緑被率 ●生物の多様化（蝶、トンボ、鳥等）
 ●雨庭コミュニティの形成 ●京都らしい緑化景観の形成



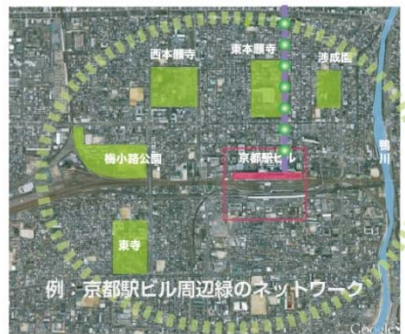
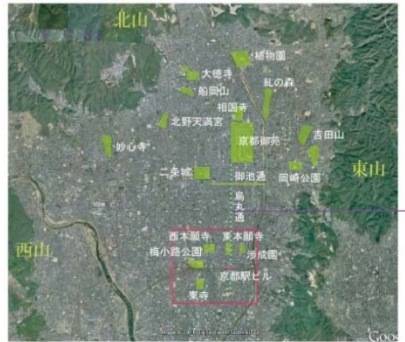
雨の建築道より
雨の建築術より



京都緑の回廊ネットワーク

京都市内の規模の大きい緑地や幹線道路の緑をネットワーク化し、緑化を推し進めると同時に、生物多様性やヒートアイランド現象の抑制等、ネットワーク全体での相乗効果を評価する。烏丸通の回廊化については、京都駅前の将来構想についても議論する。

成果指標例：
 ●緑化面積 ●生物の多様化（蝶、トンボ、鳥等）
 ●緑の回廊コミュニティの形成 ●京都らしい緑化景観（へり）



例：京都駅ビル周辺緑のネットワーク



Kyoto Green Corridor Network

- 活動内容
- ・ネットワーク協議会等の設立
 - ・現況調査
 - ・評価指標の設定
 - ・個別の取り組み設定
 - ・エリア全体のモニタリング
 - ・etc.

- 京都 緑の回廊
- ・京都駅ビル
 - ・企業
 - ・行政
 - ・京都商工会議所
 - ・京都エコロジカルネット

丸太町-京都駅間 中央分離帯にケヤキ 緑あふれる烏丸通に

京都府議会議員 丸太町区 丸太町区長 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員

丸太町 御前通は約100mあり、うち中央分離帯は約50mあり、中央分離帯を「緑の回廊」として、丸太町区長 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員

丸太町 御前通は約100mあり、うち中央分離帯は約50mあり、中央分離帯を「緑の回廊」として、丸太町区長 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員 丸太町区議会議員

みんなで取り組む《グリーンインフラ》

氾濫原再生と
雨庭で街がよみがえる！！！！